

# J R 総連通信

2024年6月5日 No.1749

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## J R 総連 第40回定期大会

### すべての代議員の

# 「満場一致」で方針確立！

JR総連は6月3日、「第40回定期大会」を開催し、2025JR総連春闘、安全問題、平和・人権・民主主義を守る取り組み、鉄道ネットワーク維持にむけた取り組みのほか、「新組合結成に関するJR総連見解」や「『JS労』結成以降の経過に関するJR総連執行委員会見解」を含むすべての議案について、JR東海労の本橋・畑野代議員を含む、すべての代議員の「賛成」による満場一致で承認され、2024年度運動方針が確立しました。

主催者を代表して山口委員長は挨拶に立ち、2024JR総連春闘、平和、安全問題、ローカル線の維持・活性化と物流ネットワークの維持、JR東海労に対する統制委員会の設置について課題を述べました。

質疑では、2024JR総連春闘の成果と教訓をはじめ、安全問題、ローカル線維持活性化にむけた地域の取り組み、平和の取り組みのほか、JR東海労に対するこの間の組織指導を履行しない姿勢について、問題視する発言が相次ぎました。

JR東海労の代議員からは「これからもJR総連と共に歩む」との発言がありましたが、その直後に発言に立った近畿地協の代議員からは、「JR東海労の仲間から本日付けで訴えられた」ことが報告され、「JR総連と共に歩むと言いつつ、JR総連の仲間を訴えるとは何ごとか」「やっていることが滅茶苦茶だ」など、JR東海労への不信感を乗り越えた怒りの発言が相次ぎました。



**JR総連「第40回定期大会」は、組織課題を抱えた中での新体制発足となりましたが、各単組・地協・労連と連携して、JR総連運動の強化・拡大にむけて取り組んでまいります！**